

今月も発行が遅くなってしまいました。申し訳ありません。

TOPICS

今月の練習予定

河毛先生の講評再掲載

音楽用語

GENERAL PAUSE

今月の練習予定

7月の練習予定です。（施設が使えることを前提としたスケジュールです。）

月	練習日	合奏の時間	曲目
7	16	19:00～	合奏
	23	19:00～	合奏
	30	19:00～	合奏
8	6	19:00～	合奏
	13	19:00～	合奏
	15		二区夏祭り本番

今年の本番予定（決定分）

夏祭り

2026年8月15日 2区夏祭り出演

2026年8月22日 マンション自治会夏祭り出演

曲順

東京ブギウギ、アンパンマン、虹、雨のちハレルヤ、365日の紙飛行機、ルパン三世、G線上のアリア、天城越え、マツケンサンバII、炎、ヒットソングプレイバック90'

ページを分ける、ファイルを別にする、など楽譜の整理をしておいてください。

音の祭典

2026年11月8日

風がきらめく時、大草原の歌

河毛先生の講評（再掲載）

昨年(2025年)の「音の祭典」後、河毛先生の講評を再掲載します。

今年も大変お世話になりありがとうございました！みなさんと音楽を作り上げる過程をご一緒できることを毎回楽しみにしておりました！

昨年から考えると曲の流れが定着するのが早くなったなと感じていました！

最近、音楽とは何なのかを考えることが多くあるのですが、吹奏楽における音楽とは、やっぱり人と人の発する音を重ねて響きを構築し、音の波を整え、メロディを乗せていく、それが美しさになるのだなぁと感じます。

たてのライン、音色、音程、音の長さ、リズム、テンポ感等々がもちろん揃っているべきではありますが、更に呼吸を揃え、このメンバーでしか出せないバンドの音色をどんどん磨いて行って欲しいです。

本番までに練習してきたことが、緊張や心の準備が追いつかないなどで、発揮されなかった部分もあったかとは思いますが。いかに日頃の練習において、音を出すという過程のところで、どうやって音を発しているかを集中して自分自身研究してみてください。それをしていると本番で緊張する暇がなくなってきます。

逆に本番は凄く上手くいったと感じた部分もたくさんあったと思います。その感覚はとても大事で、またあんな風に吹けたらいいな、あの時どうやって演奏したのかな、筋肉はどうやって使われていたのかな、と振り返ってまた次の演奏に繋げて貰えるといいです。

本番におけるテンポ感の共有が少し上手くいかなかった点がありました。それは私が本番で練習と違うアゴーギクを取ったりしたことが原因なのですが、それに着いてきてくださった方と、そのままいってしまった方にわかれたことによります。どれだけ空気の流れを読み、アンテナを張って流れを察知していけるかなので、楽譜にかじりつかなくていいように練習していくことと、まわりとのアンサンブルをしてください。

楽器を演奏するということは、目も耳も指(腕)も使うし、吸う吐く、考える(脳を使う)、全身運動で、一気に同時に何個もやっています。それって凄いことですよ

ね。健康維持のためにも、これからも音楽(楽器)を楽しく続けていって貰えると
いいなと思います。
吹奏楽って楽しい！

音楽用語

音の祭典の楽曲の音楽用語です。（曲想用語のみ）

風がきらめく時

Amabile：愛らしく、愛情こめて、優しく愛情深く浸し身を感じさせるように

Brillante：煌びやかに、輝かしく、明るく輝くように生き生きと

Tranquillo：穏やかに、静かに、落ち着いて、心が安らいでいるように平静に

大草原の歌

Espressivo：表情豊かに

編集後記

6月最後の土曜日、オオサカンのコンサートに行ってきました。保科先生の曲を
保科先生自信が指揮をされるというコンサートです。開演前のプレトークのお話
を聞いて、もっと楽譜に向き合えと言われている気がしました。。。

<了>